

# 広報誌 すこやか

第41号

## 吉田病院の理念

医療の主人公は、みなさまです。

わたしたちは、

- 一、みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます。
- 一、みなさまの人格、プライバシーを尊重します。
- 一、みなさまにまごころをこめて、親切に接します。
- 一、みなさまに必要な医療を地域と連携して提供します。
- 一、みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます。
- 一、みなさまの健康維持のために、全力を尽くします。

New  
Doctor

## 内科(内分泌、膠原病)

府川 悦士先生



### ～Profile～

#### ・経歴

旭川医科大学 医学部・卒  
 日本内科学会認定総合内科専門医  
 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医  
 日本医師会認定産業医  
 日本リウマチ学会リウマチ専門医

## 膠原病とは？

膠原病という病気は、複雑多岐にわたる病気で、なかなか一言では説明できません。あえていえば「血管と結合組織(筋肉など)に炎症がおこる」病気です。血管と結合組織は、身体の中のどこにでもありますから、基本的にはいたるところで病気がおこる可能性があります。また、治療中も薬を減らすとまた症状が出現するといった慢性的な経過をたどることも少なくありません。「膠原病は難病である」といわれるのは、このように慢性の経過をたどり、しかも身体のおちこちに炎症をおこす多臓器疾患だからです。

膠原病とよばれる病気はいくつもあり、リウマチや痛風もそのひとつです。膠原病はそれぞれ特徴があります。しかし、発病時に現れやすい症状は似ています。発熱や関節痛などは日常によくみられる症状です。しかし、とくに思い当たることもないのに現れ、なかなか改善しないようなら、膠原病を疑ってみる必要があります。

このような症状がでたり、長引いたりしたときは安易に考えて放っておいたりせずに、すぐに受診することをおすすめします。

# 認知症を知る

認知症は、単なるもの忘れではありません。「久しぶりに会った人のことが思い出せない…」このような経験は誰にでもあります。「もの忘れ」は自然な老化によっておこる「単なる歳のせい」で、誰にでも起こりえます。一方、「**認知症**」は「**病気**」であり、**単なるもの忘れではありません**。

認知症の初期症状で最も多いのはもの忘れですが、それ以外の症状ではじまることもあります。意欲、自発性の低下（やる気がおこらない、これまでやっていた事をしなくなった、ものぐさになった）やうつ症状、言葉の障害、注意力低下なども認知症の初期症状のことがあります。



## 認知症は**予防**できます！

認知症は、脳が病的に障害されておこります。その原因となる病気の多くは「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」です。なかには、原因となる病気を**適切に治療することで認知症の症状が軽くなるものもあり**、認知症全体の約1割を占めているといわれています。

### 脳血管性認知症

脳血管性認知症とは、脳の血管障害、脳梗塞や脳出血によって起こる認知症です。これは障害された部位によって症状が異なり、めまい、しびれ、言語障害、知的能力の低下等の症状がでます。

また、脳血管性認知症は脳血管障害を再発することで悪化していくことが多いため、再発予防が特に重要となります。

このような症状がある場合は脳の血管を調べる検査（CT、MRI）を受けることをおすすめします。

### アルツハイマー型認知症

アルツハイマー型認知症とは認知症をきたす疾患の中で一番多い疾患です。

症状はゆっくり進行する「もの忘れ」が特徴です。古い記憶は保たれますが、最近の出来事を覚えることができません。そのため同じことを何度も聞いたりします。抑うつや妄想ではじまることもあります。

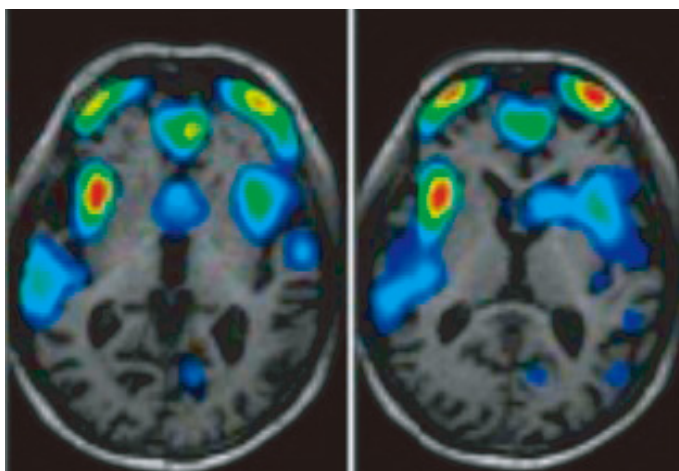
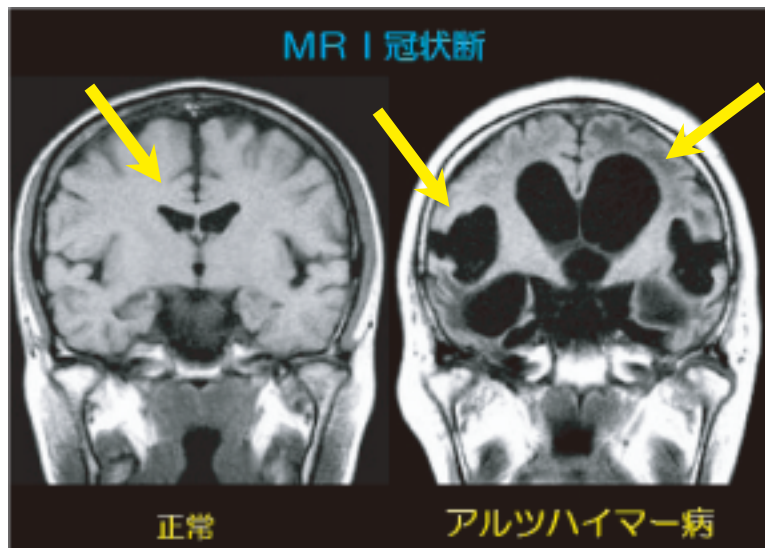
アルツハイマー型認知症は、初期症状の段階で気づき、**早期治療をすることで、病気の進行を抑えることができます**。そのため、脳の画像検査（CT、MRI）を受けて早期発見することが一番重要です。

**早期発見！****MRI でアルツハイマー型認知症を見つけよう！！**

アルツハイマー型認知症は脳の萎縮、特に海馬といわれるところに最も早く萎縮が起きます。そのため、症状や経過などの臨床情報に加え画像検査（CT、MRI）をすることが効果的であるといわれています。

右の画像は健常者とアルツハイマー型認知症患者の脳の MRI 画像を比べたものです。

健常者の脳に比べてアルツハイマー型認知症患者の脳が萎縮して小さくなっているのがよくわかります。（黄色の矢印の部分）



左上の画像は当院の脳 MRI 画像を解析したものです。患者様にわかりやすいように脳全体および関心領域（海馬）の萎縮が進んでいる部分を色付けした画像です。

青（寒色系）よりも赤（暖色系）の方が萎縮の進んでいる色になります。

少しでも最近おかしいなと思ったときは検査を受けてみましょう。

**早期発見が大切です。**



MRI 検査の画像だけではアルツハイマー型認知症と診断することはできません。患者様の症状と経過、神経心理学的検査の結果などと合わせて総合的に判断します。



## 外来診療担当医師シフト表

		月	火	水	木	金	土	
午前	内科	【糖尿】 岩島 保法	【糖尿】 岡田 瑞穂	【糖尿】 岩島 保法 岡田 瑞穂			武田 寛樹 岩島 保法 岡田 瑞穂 馬場 勝義 横田 欽一 上田 修 武内 周平 府川 悦士 (交代制)	
		【肝臓】 吉田 慶子 府川 悦士 東出 めぐみ	【肝臓】 石黒 俊哉 ◎古川 博之教授 紀野 修一准教授 (旭医大)	【肝臓】 馬場 勝義 府川 悦士	【肝臓】 馬場 勝義 ▲峯松 秀樹	【肝臓】 吉田 慶子 東出 めぐみ ▲峯松 秀樹		
		【呼吸器・漢方】 鈴木 まゆみ			【漢方】 村主 明彦 (北里大学 東洋医学研究所 副所長) 予約制			【呼吸器・漢方】 鈴木 まゆみ
		【一般内科】 上田 修	【一般内科】 馬場 勝義 石黒 俊哉	【一般内科】 上田 修				【一般内科】 上田 修
		【呼吸器】 渋谷 紀代子 佐々木 高明 (交代制)	【呼吸器】 大崎 能伸教授 (旭医大)	【呼吸器】 南 幸範 (旭医大)				【呼吸器】 山本 泰司 (旭医大)
		【消化器・一般内科】 横田 欽一						
		【循環器】 武田 寛樹		【循環器】 佐藤 伸之准教授 (旭医大)	【循環器】 武田 寛樹			
								【臨床遺伝】 ◎蒔田 芳男教授 (旭医大) 予約制
	外科	工藤 浩市					工藤 浩市	
	整形外科	井上 謙一	☆吉岡 研之 (慶応)	井上 謙一			井上 謙一 (交代制)	
午後	内科 (前半)	横田 欽一	鈴木 まゆみ		横田/▲峯松			
	内科 (後半)	武内 周平	府川 悦士	武内 周平	馬場/▲峯松	武内/▲峯松		
	整形外科	■井上 謙一	☆吉岡 研之 (慶応)	■井上 謙一				
	その他	【呼吸器・漢方】 鈴木 まゆみ			【呼吸器・漢方】 鈴木 まゆみ			
		【メンタルヘルス・クリニック】 ★千葉 茂教授 (旭医大) 予約制	【循環器】 武田 寛樹		【内分泌・膠原病】 ■府川 悦士			
				【漢方】 村主 明彦 (北里大学 東洋医学研究所 副所長) 予約制	【乳腺】 工藤 浩市 北田 正博准教授 佐藤 博 予約制			

- ※ 各医師の都合により診察日・時間等の変更がある場合がございます  
ご了承下さい。(受診の際は事前にお問い合わせ下さい)
- ※ 午後内科外来の時間は 前半 13:30~15:30、後半 15:30~18:00 です。
- ※ 出張医・派遣医は青文字で記載しております。
- ※ ◎印の古川博之医師、蒔田芳男医師の診察は月2回となります。
- ※ ☆印の慶応大学出張医・吉岡医師の診察は15時までとなります。
- ※ ■印の井上・府川医師の外来は16:30までの受付となります。
- ※ ★印の千葉茂医師の受付は13:00~15:00までとなります。
- ※ ▲印の峯松秀樹医師の診察は隔週となります。
- ※ 金曜日の乳腺外来は14:00~17:00までの医師交代制・予約制となっております。
- ※ 上記のシフト表は平成23年5月1日現在のものです。

### その他の外来のご案内

- 眼科—毎週木曜日(午前): 旭医大眼科派遣医師
- 婦人科—毎週木曜日(午前): 旭医大婦人科派遣医師
- 甲状腺—毎週第4土曜日: 島袋 嘉修医師(島袋内科医院長)
- 歯科—月曜日~土曜日(第1・3土曜休診): 小西 文医師  
月2回(月) 在宅診療: 小西医師  
院内診療: 佐藤 健彦医師(北大口腔外科)  
小堀 喜則医師(北大口腔外科)

